

平成24年度 第1回会計学教育FD/ICT活用研究委員会 議事概要

I. 日 時：平成24年4月22日（日）

午後3時00分から6時00分 午後8時00分から9時30分まで

II. 会 場：同志社大学 琵琶湖リトリートセンター

III. 出席者：椎名副委員長、河崎委員、福浦委員、金川委員、松本委員、木本委員、
阿部委員（事務局）井端事務局長、森下主幹

IV. 議事概要

1. 検討内容

会計学教育における教育改善モデルを設定したが、これを実行するために必要とされる教育力について検討を行った。まず、会計学教員に求められる学識とは何かというテーマで、討議資料に基づいて教員に求められる資質と専門性に分けて議論がなされた。資質の観点からは、倫理的な視点や人間性についてまで言及する必要があるか、会計マインドをどのように考えるか等の議論が行われた。また専門性の観点からは、会計を学ぶことの意義や会計の持っている社会での役割が説明できること、会計学の必要性について説明できること、会計学の面白さや学生に問題意識を持たせる努力が出来ること等が必要な専門性であると意見が出され活発な議論が行われた。

以上の結果、教員は共に学生と学ぶ視点を持ちながら、学生に会計学の興味を引き出すような授業を展開することができる能力が求められるとの共通理解を得た。これをもとに「会計学教員に期待されること」として次の5点に集約した。

- ①強い使命感と倫理観を持ち、社会貢献ができる専門家であること。
- ②会計原理および会計技法に精通し、それらの国際的潮流を把握していること。
- ③会計原理および会計技法を分析・評価し、社会のイノベーションに取り組む能力を有していること。
- ④会計の特質を理解させ、会計の社会的役割を気づかせる能力を有していること。
- ⑤ICTなどの教育技法を駆使して、効率的な教育ができる能力を有していること。

次回はこの5点を教育改善モデルに援用し、教育改善モデルの実現に求められる教育力について議論することとなった。

2. 次回の委員会

日時：6月中旬

場所：西南学院大学を予定

以上